



業務効率化と生産性向上に
エッジの効いた答えを。



現場DXプラットフォーム



現場DXプラットフォーム dynaEdgeソリューションを構成する**キーデバイス**のご紹介

モバイルエッジコンピューティングデバイス
dynaEdge DE200・DE100



&



メガネ型ウェアラブルデバイス
インテリジェントビューア AR100

Intel Core プロセッサを搭載。Windows10が動作する高性能小型コンピュータを手のひらサイズで実現。重さは約310g



5 ボタンキー

片手で直感的なカーソル操作が可能
手袋装着等の作業環境を考慮

多彩なインターフェース

各種データのインプット/アウトプットに対応

- ・USB3.0/USB Type-C
- ・Wi-Fi/Bluetooth
- ・Micro SDカードスロット
- ・Mic/Speaker端子

省電力設計

バッテリー駆動約5.5時間駆動 (※)

容易なバッテリー交換で1日の作業に対応

※JEITAバッテリー動作時間測定法(Ver.2.0)による値。実際の駆動時間は使用環境および設定などにより異なります。



ケンジントンロック

落下防止や店舗端末など幅広い
セキュリティ対策有効

指紋認証

セキュリティと簡単ログインを両立
1台の端末を共有する場合の認証管理が可能

堅牢性

外周をラバーバンドで囲い、作業時の衝突・落下から保護。MIL規格 (MIL-STD-810G) に準拠したテストをクリア (※)

(※) MIL規格に基づいて、一部当社が設定した試験条件に従い試験しています。無破損・無故障を保証するものではありません。

新商品 dynaEdge DE200 特長



- **片手で持ち運べる軽さ約340g Windows 10 Pro搭載機**
エッジコンピューティングを身に着ける

- **さまざまな利用シーンに応える5ボタンキー
さらにユーザビリティを高める進化したデザイン**
従来機dynaEdge DE100のコンセプトを継承

- **第11世代インテル Core CPU搭載**
独自の省電力技術・冷却技術で軽量コンパクトでも高性能

- **長時間バッテリー駆動**
バッテリー大容量化で約7.5時間※2の長時間駆動を実現
USB Type-C™充電対応

- **現場利用を目指した堅牢性**

- **LTEサポート**(※1)
さまざまなサービスと常に接続してDXを実現へ



dynaEdge DE200の機動力を高める充実のオプション



インテリジェントビューア
AR100／AR100フレーム



ポート拡張アダプタ
USB Type-C™ 2



VESAマウントキット
横幅・厚みを従来機と共通設計と
することにより、そのまま利用可能

拡張性

AR100、ポート拡張アダプタ等、
従来機と同様に使用可能

DE200はUSB Type-C™ポート搭載により、
同オプションを使用可能

持ち運び・装着

DE200向けに新設計
薄く・装着しやすくなったホルスター
取手が付き、持ち運びしやすくなった
キャリングケース



DE200ホルスター



インテリジェントビューアAR100キット（DE200用）※

dynaEdge DE100・DE200 主な仕様

	dynaEdge DE100	dynaEdge DE200	
CPU	第6世代インテルCore™プロセッサ	第11世代インテルCore™プロセッサ	
メモリ	4G/8G/16G	8G/16G	選択可能
SSD	128G/256G	256G/512GB	選択可能
生体認証	指紋センサー		選択可能
インターフェース	USB3.1(Gen1) Type-C×1、USB3.1(Gen1)Type-A×1、 マイク入力/ヘッドホン出力端子×1		
SDカードスロット	有	無	
充電	AC電源コネクタ	USB Type-C™コネクタ	
モバイルバッテリー充電	不可	可	
電源ボタンロック	なし	あり	
操作キー	5ボタンキー（アップ・ダウン・レフト・ライト・センター）		DE200は一回り大きい
バッテリー駆動時間	5.5時間	7.5時間	「JEITAバッテリー動作時間測定法(Ver.2.0)」による値。ただし、実際の動作時間は使用環境および設定などにより異なります。
通信	IEEE802.11ac/a/b/g/n準拠	Wi-Fi 6（IEEE802.11ax）（2.4Gbps）対応 + IEEE802.11ac/a/b/g/n準拠	
LTE	無	有	DE200 LTE対応モデルは2021年度中に提供開始予定。
質量	約310g	約340g	
外形寸法	約165(縦)×85(横)×20(厚さ)mm	約197(縦)×85(横)×20(厚さ)mm	

ハンズフリーで現場の作業効率を向上させる Windows対応のAll in Oneメガネ型ウェアラブルデバイス

カメラ

500万画素のカメラ
写真・動画撮影
Web会議等の映像送信に



ディスプレイ

高精細ディスプレイにより、図面、ドキュメント
など必要な情報を表示



マイク、スピーカー

AR100のみで音声コミュニケーション可能

タッチパッド・操作ボタン

AR100のみでも操作可能

ライト

暗所での作業や撮影を
サポート

フレキシブルで安全性に配慮した装着性

利き目に合わせて左右どちらにでも装着可能メガネの上からも装着可能
跳ね上げ式で、実作業や移動中の視線を妨げない、安全設計

長時間駆動

DE200からのバッテリー供給で長時間利用ができる

多彩なセンサー搭載

GPS、コンパス、ジャイロ、
加速度、近接、照度



dynaEdgeは現場DXプラットフォームへ

dynaEdgeで変わる現場



遠く離れた現場を
サポートしたい

人材不足を補いた
い

作業時間を短くし
たい

正確性を上げたい

さまざまな現場課題へのソリューションをご提供

Dynabookが提供する現場DXプラットフォーム

Solution



作業支援ソリューション

Vision DE Suite

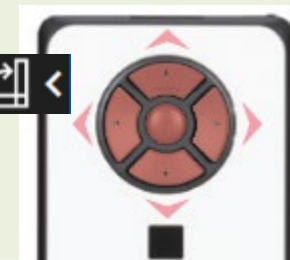
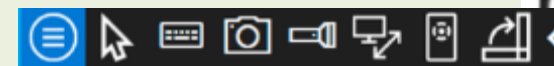


例：ピッキング支援システム
パートナー様ソリューション

キーデバイスのパワーを引き出す
新開発**dynabook Edge AIエンジン**

dynaEdgeの5ボタンキーでさまざまな操作を可能とする
dynaEdgeコントローラー

Solution Platform Technology



Key Device



dynaEdge DE200



dynaEdge DE100

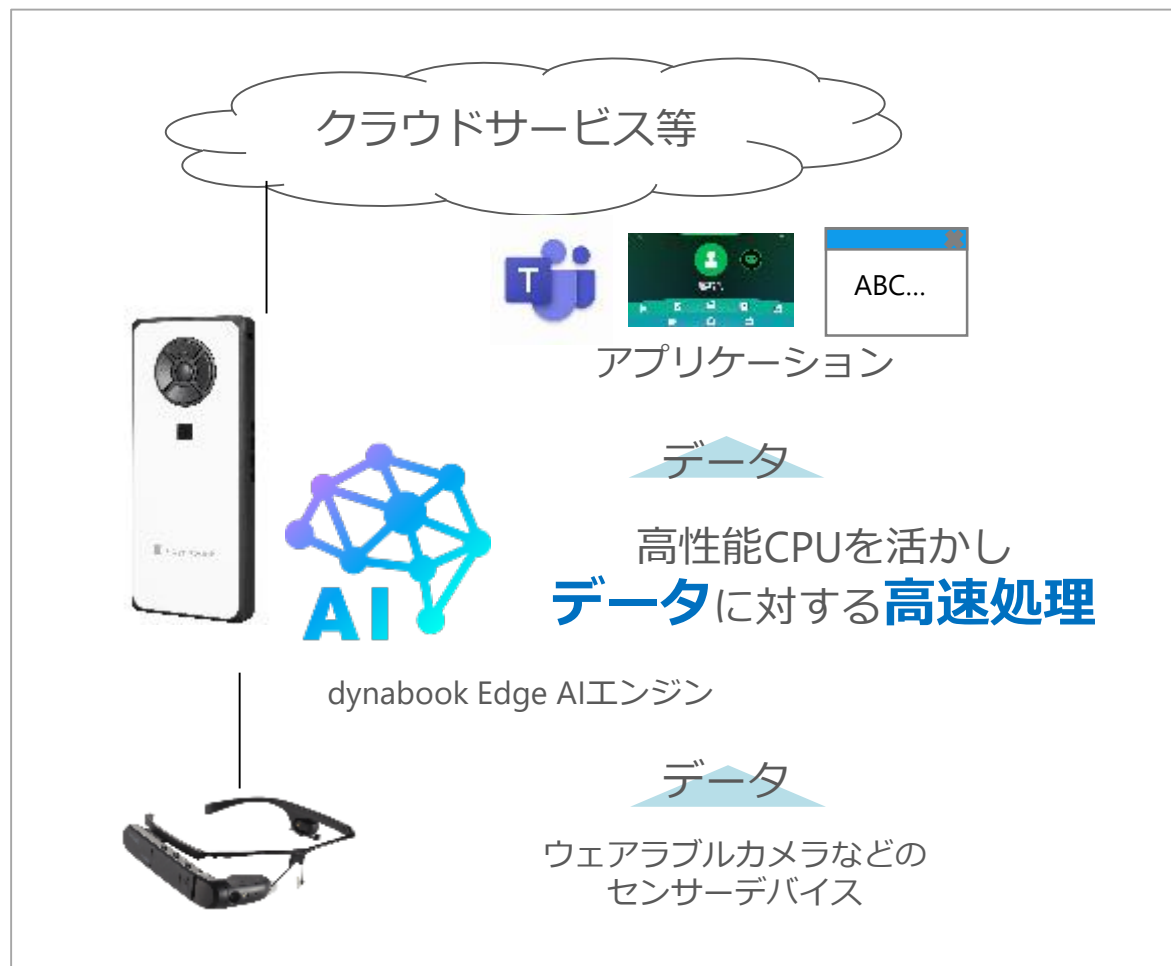


インテリジェントビューア
AR100

現場DXプラットフォーム

dynabook Edge AIエンジン コンセプト

キーデバイスのパワーを引き出す 新開発**dynabook Edge AIエンジン**



dynabook Edge AIエンジンは、**エッジ端末側**で、データに対する**高速処理**を実現するフレームワークです。

Microsoft Teamsや、さまざまなアプリケーションに渡る前に処理することで、クラウド側のAI処理と比して、高速性・リアルタイム性のある処理を実現可能です。

DE200向けには、**仮想カメラ**技術により、ゆれ補正機能などを提供します。

今後は、パートナー様がdynabook Edge AI エンジンを開発できる環境を準備し、さらに活用の幅を広げます。

DE200向けに提供する dynabook Edge AIエンジンの効果

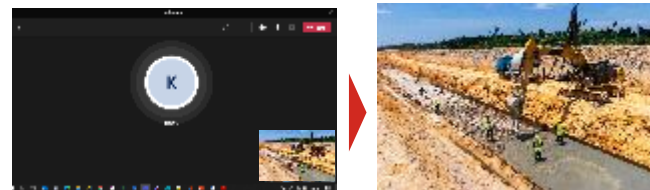


トラッキング機能



注目領域を追いかける

モニター機能



効果適用カメラ映像を全画面に表示
Microsoft Teams等のUIによらず映像確認が可能に

ゆれ補正機能

頭部に装着したウェアラブルカメラの作業中のゆれを補正し、見やすく



ON 頭につけたカメラが揺れても、注目領域がセンターに来るようにフレーム間で固定。



OFF カメラの位置がゆれると、遠隔支援者に伝わる映像がゆれて確認しづらい。

明るさ補正機能

逆光などの現場でも対象を見やすく



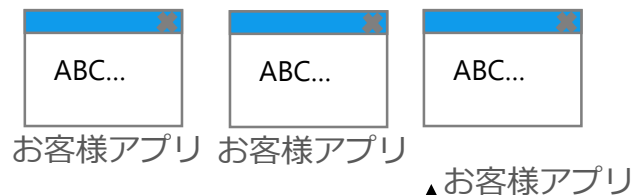
OFF 現場が暗いため、遠隔支援者側では細部が見にくい。

ON 明るさ、コントラストを補正し、映像を見やすくする。

新開発 dynaEdgeコントローラー アプリを5ボタンキーで操作

dynaEdgeの5ボタンキーでさまざまな操作を可能とする

dynaEdgeコントローラー



アプリケーション例：
Windowsカメラアプリ
を5ボタンキーで操作



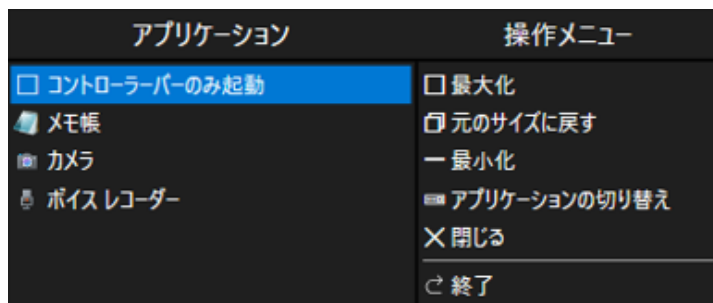
5ボタンキーでアイコンを選択操作

従来は、dynaEdgeのボタン操作に合わせて、
専用のアプリケーション作りこみが必要でした。

dynaEdgeコントローラーは、さまざまなアプリケーションのキー操作を設定することにより、
5ボタンキーのみでの操作を可能とします。

dynaEdgeがWindows端末である利点を活かし、**既存のアプリケーション**
をウェアラブルで活用したいといったお声に対応しました。

dynaEdgeコントローラー マウス操作や簡易キー入力も



アプリケーション起動メニュー



キー入力操作

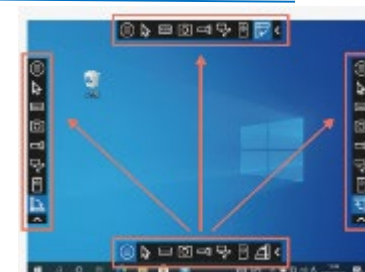
AR100ライトのON/OFF



dynaEdge Configuration Utility



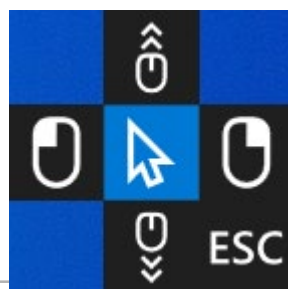
バーの位置変更



5ボタンキー操作



マウス操作



カメラの設定





ビューア機能

写真やドキュメントなどを目の前に表示
紙のマニュアルの持ち歩きを削減
PDF・写真・動画の再生も

録画機能

作業の記録・エビデンス保存をハンズフリーで
写真撮影・動画撮影に対応



ウェアラブル用途に**最適化**したUX
で、5ボタンキーのみで操作可能

音声操作機能も搭載



遠隔支援機能

Microsoft Teamsに対応したコミュニケーション
現場作業者の視界の様子を見ながら確実にアドバイス

Vision DE Suite ビューア機能

目の前のディスプレイに、図面やドキュメント・動画などを表示できます。



対応フォーマット

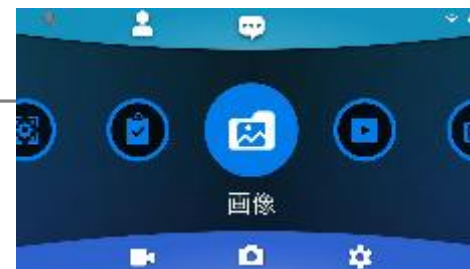
画像ビューア: JPEG,BMP,GIF,PNG

動画ビューア: MP4

PDFビューア: PDF

ズーム機能

画像(x1,x2,x3), PDF (x1,x2,x3,x4)



一覧を表示



一覧から選択するだけの簡易なユーザーインターフェース



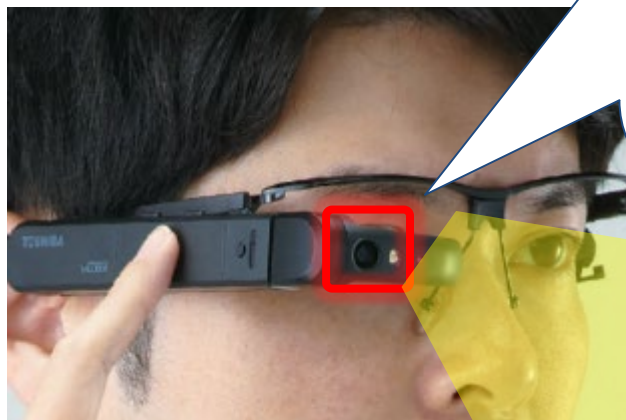
ズームの切替も簡単に



ボタン操作だけで見ずに操作できる

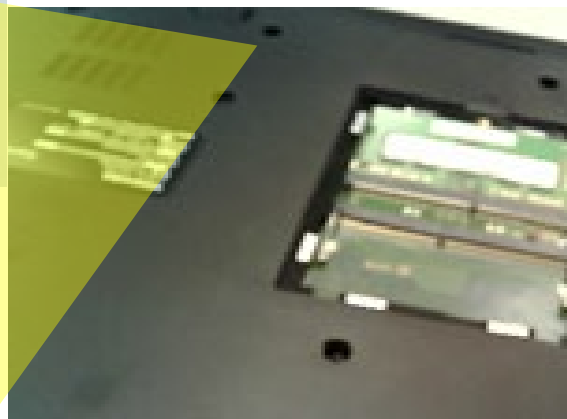
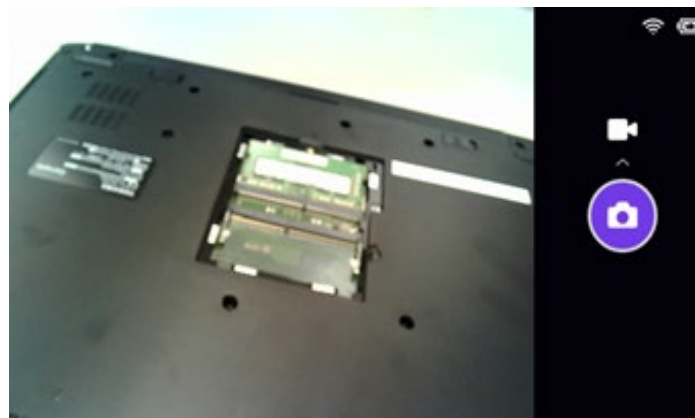
遠く離れた現場へ、エキスパートを派遣することなく、まるでその場にいるかのような支援が可能に

Vision DE Suite 録画機能



AR100は、視界方向にカメラモジュールを配置しており、作業中の様子を撮影可能です。

カメラ機能を起動すると、目の前にカメラプレビューが表示され、ボタン操作でシャッターを切ることができます。



静止画撮影・動画撮影の切替も可能です。

撮影フォーマット

静止画： JPEG、 動画： MP4

写真解像度

5MP/2MP/0.9MP/0.3MP

動画解像度

1080p/720p/480p

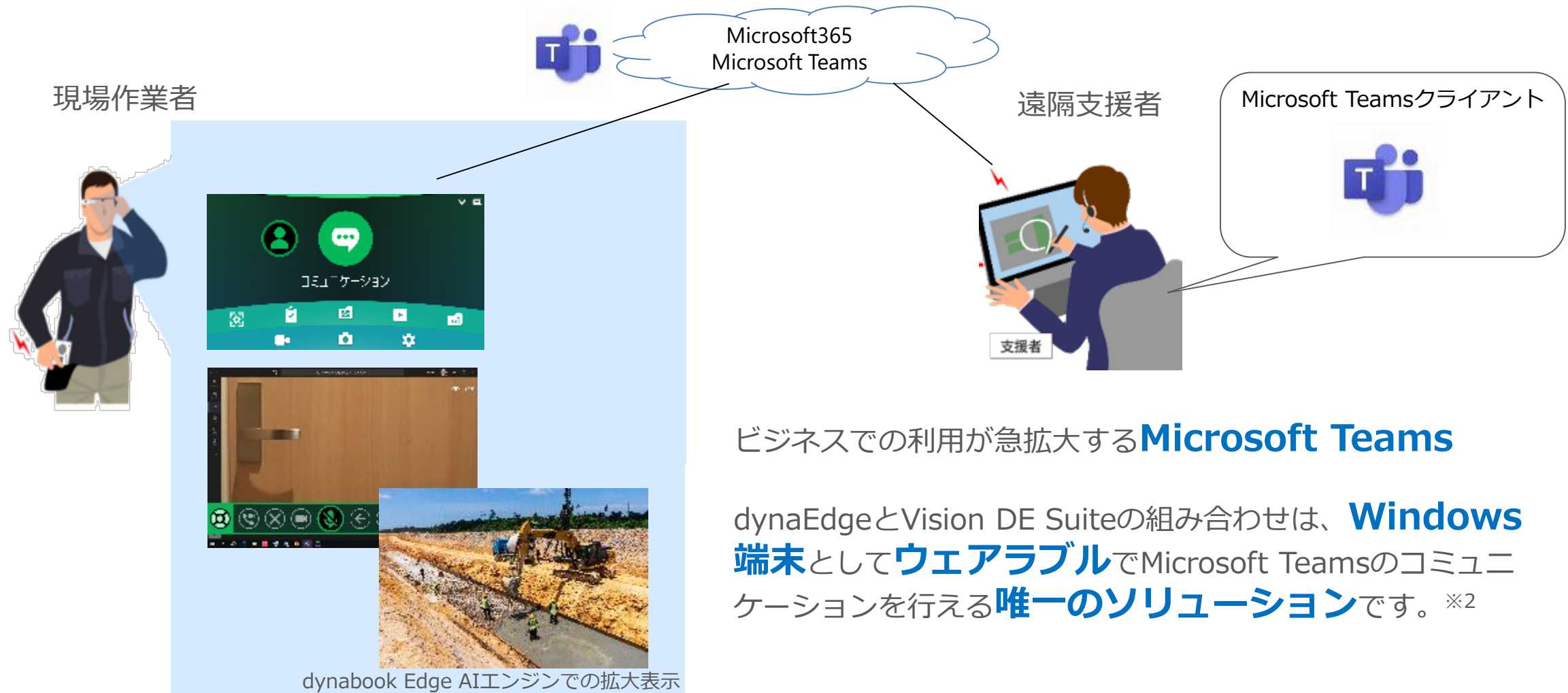
カメラフォーカス設定

オート・マニュアル(3パターン)切替可能

- ※ 撮影解像度・フォーカス設定は、あらかじめ、設定メニューより設定しておく必要があります。
- ※ 撮影した写真・動画のファイルは、特定のフォルダに保存されます。ビューア機能で参照できます。

作業しながら、現場作業者の視界をそのまま撮影し、作業記録として保存できます

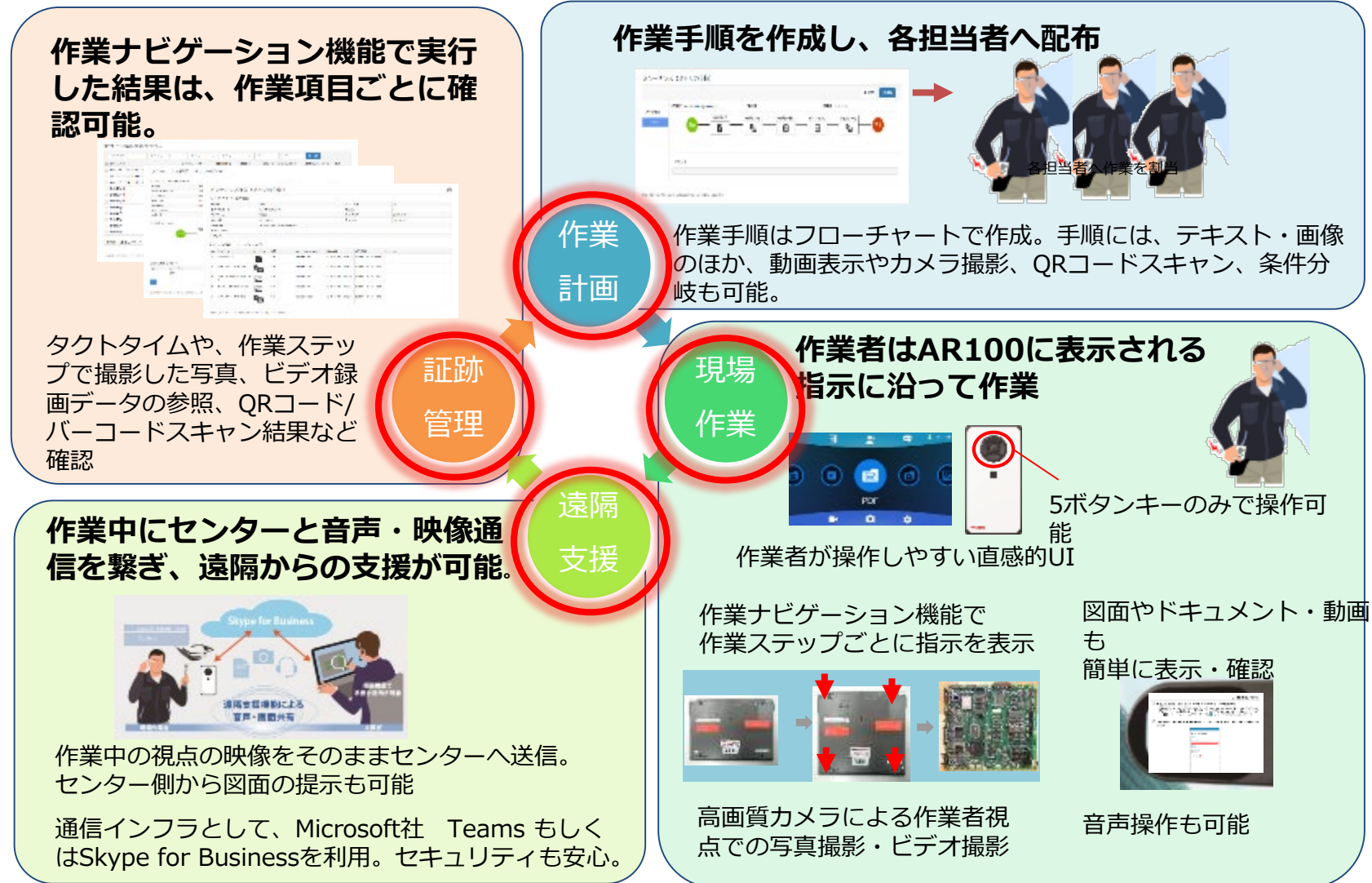
Vision DE Suiteは Microsoft Teams に対応 遠隔支援も



ビジネスでの利用が急拡大する**Microsoft Teams**

dynaEdgeとVision DE Suiteの組み合わせは、**Windows 端末**として**ウェアラブル**でMicrosoft Teamsのコミュニケーションを行える**唯一のソリューション**です。※2

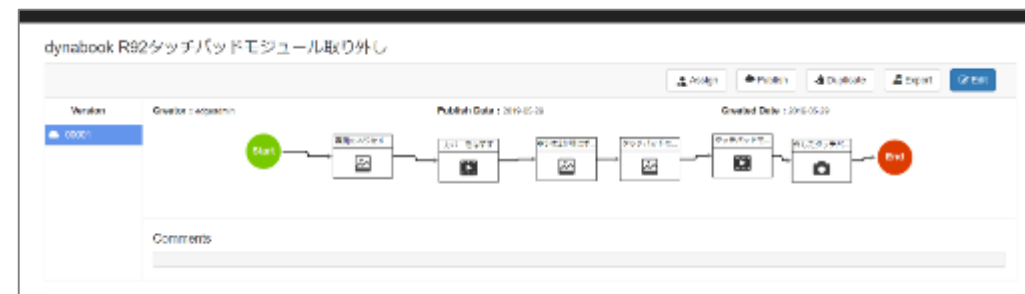
DE200では、新たに**dynabook Edge AIエンジン**との組み合わせが可能に※1
モニター機能を利用すれば、作業者は**自身のカメラ映像を大きく表示**も



Vision DE Suiteの作業ナビゲーション



作業手順はフローチャートで設計

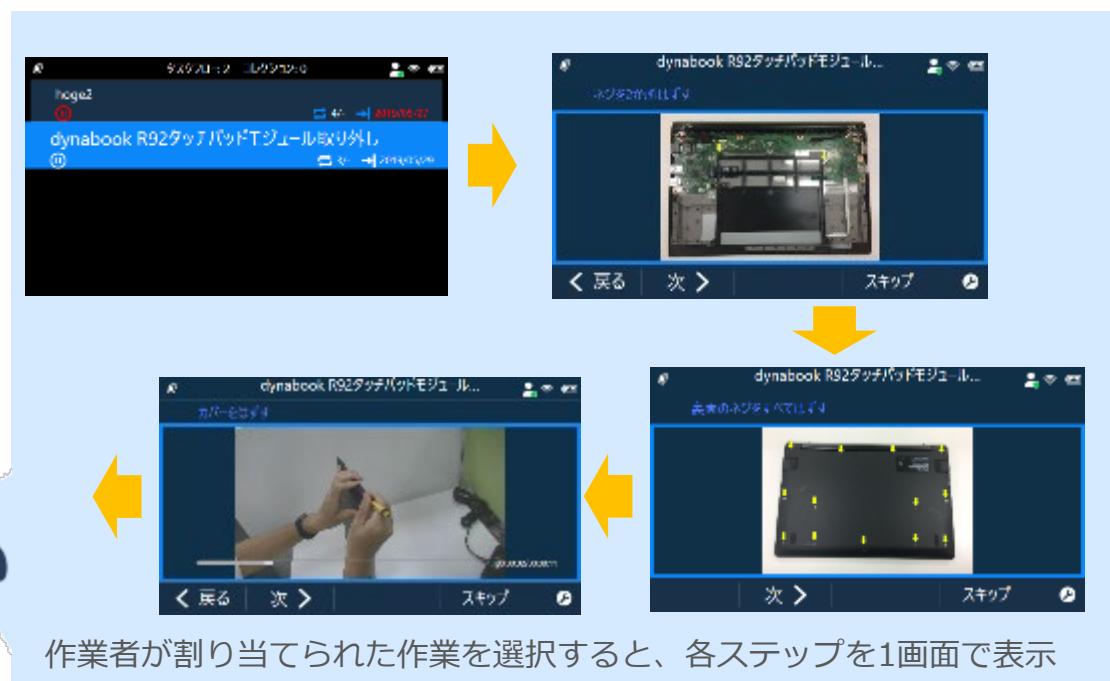


多くの現場で必要となる、**作業手順**や**チェックリスト**

Vision DE Suiteの作業ナビゲーション機能を使えば、
目の前に順に作業ステップを表示

手順ミスや漏れの防止、確実な作業証跡管理も実現

音声での操作も可能



- Microsoft、Microsoft 365、Microsoft Teams、Skype、SQL Server、Teams、Windows、Windowsロゴ、Windows Serverは、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- インテル、インテルCore、Irisは、アメリカ合衆国および / またはその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標です。
- Wi-Fi、WPA、WPA2、WPA3は、Wi-Fi Allianceの登録商標あるいは商標です。
- Bluetoothは、Bluetooth SIG, Incの登録商標です。
- USB Type-C™は、USB Implementers Forumの商標です。
- その他の記載されている社名・商品名・サービス名などは、それぞれ各社が商標として使用している場合があります。

- 下記より、詳細な情報をWEBサイトよりご覧いただけます。
<https://dynabook.com/business/mecd/index.html>



